

2022年度 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日

特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

1. 事業の成果

(1) 経済的困窮者に対する食料品・日用品等物資の受入・配給事業

2022年3月末での登録寺院数は1,859カ寺(前年比+63)、登録団体数は687団体(前年比+120)となりました。支援を受ける月間の子ど�数はのべ24383人(前年比+931人増)となり活動の規模は広がっています。3年目となるコロナ禍の長期化や社会影響からの物価高が相重なり、助けを求める声はとどまらず、直接支援をしている家庭数が8,548世帯(前年+2,605世帯増)となりました。

今年度より事業1へ移行した、おてらおやつ劇場は中部圏地域創造ファンドコンソーシアムの「休眠預金による草の根活動支援事業」の一環で、支援団体へ上演をプレゼントを実施しました。「ぶんぶくぶんぶく」も総上演49件となり、芸の熟練度が増してきました。

(2) ひとり親家庭等の経済的自立や子どもの貧困問題に関する啓発事業

2021年度に引き続き奈良県田原本町・天理市の二つの自治体と連携し、ガバメントクラウドファンディングを実施し、合計10,787,643円のご寄付を賜りました。6月にはインパクトレポート、12月に直接支援家庭向け調査を実施しました。また、7月には「てばなす」6号を発行し、コロナ禍での支援状況や前年度収支などを報告しました。

さらに通年の事業として「おてらおやつクラブ全国巡回展～たよってうれしい、たよられてうれしい。～」を開催。毎月、全国の賛同寺院を会場として活動紹介のパネルやひとり親家庭から届いた「声」などを展示したほか、活動説明会やおすそわけの箱詰めワークショップ、各地の支援団体の講演などを実施しました。全体でのべ約2,700名の方に来場いただき、その内47名は各地の市役所職員や市議会議員・県会議員、衆議院議員などで、多くの行政関係者に当活動を認知していただけました。

(3) 学習支援や居場所づくり等子どもの発達・育成に関する事業

本年度より、居場所事業に専任職員を配置し、田原本町に子どもが集まる拠点を設けることになりました。町内の子どもたちをはじめとした地域住民と事務所前の空き家をリフォームするところから始めて、8月に完成。職員及びボランティアによる月2回の学習支援や、中高生が主体となりイベントを企画する中高生企画を実施しました。

▼各活動参加者数

・空き家改修のべ77名・学習支援のべ123名・中高生企画のべ9名

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------|------|--------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------|---------|
| (1) 経済的困窮者に対する食料品・日用品等物資の受入・配給事業 | 全国の寺院を拠点に、経済的に困窮する家庭やその支援を行う団体等に寺院に供えられた食料品・日用品などを届ける。 | 随時 | ・事務所 ・全国寺院 | ・事務局17人 ・ボランティア357人 ・全国1,858寺院 ※寺院は不特定多数 | 月間 約36,000人 ※親1名子2名で算出 | 40,017 |
| (2) ひとり親家庭等の経済的自立や子どもの貧困問題に関する啓発事業 | 講演・勉強会・執筆などを行い、ひとり親家庭等の自立問題や子どもの貧困問題についての啓発を促す。 | 随時 | ・事務所 ・その他会場 ・オンライン | ・事務局5人 | 不特定多数 | 13,880 |
| (3) 学習支援や居場所づくり等子どもの発達・育成に関する事業 | 学習支援やイベント企画を通して、子どもの居場所づくりに取り組む。 | 随時 | ・事務所 ・その他会場 | ・事務局6人 | 不特定多数 | 5,466 |